



(公社) 日本気象学会
The Meteorological Society of Japan



[日本気象学会の紹介](#) > [日本気象学会が行っている各種表彰（顕彰事業）](#) > [藤原賞 歴代受賞者一覧](#)

藤原賞 歴代受賞者一覧



藤原賞		
受賞年度	氏名	業績
2016年度	杉 正人	数値天気予報・長期予報の精度向上並びに気候・地球温暖化予測研究への諸貢献と推進
	津田 敏隆	電波リモートセンシング技術による大気擾乱の観測的研究
2015年度	木本 昌秀	気候モデルの開発を通じた我が国の地球温暖化研究の推進と気候変動にかかわる社会への情報発信
	中澤 哲夫	熱帯気象学及びアジアモンスーン気象学における国際協力の推進
2014年度	時岡 達志	地球温暖化モデリングによる地球温暖化予測への貢献
	中島 映至	大気放射学とそれに関わる気候・環境科学の推進
2013年度	宮原 三郎	中層および超高層大気力学の発展につくした功績
	近藤 豊	地球大気環境科学に関わるオゾンとエアロゾル研究の推進
2012年度	中澤 高清	二酸化炭素等の温室効果気体に関する総合的研究による全球炭素循環の解明ならびに我が国における温室効果気体の観測的研究の推進への貢献

2011年度	田中 浩	成層圏気象学・気候学ならびに地球環境学の研究推進への貢献
2010年度	岩坂 泰信	エアロゾルならびに黄砂に関する研究への貢献
	近藤 洋輝	わが国における地球温暖化研究の推進への貢献
2009年度	秋元 肇	日本における新しい大気化学の推進
	深尾 昌一郎	大気レーダーの開発と活用による気象学・気象技術の発展への貢献
2008年度	松本 誠一	日本における豪雪・豪雨等のメソ気象学の総合的研究の推進
	廣田 勇	中層大気力学研究の推進並びに大気力学研究者の育成及び日本気象学会の運営への貢献
2007年度	石 廣玉	大気環境に関する日中共同研究の推進
	木田 秀次	数値モデルによる気象学及び気候学研究の推進と日本気象学会の運営への貢献
2006年度	中村 健治	気象衛星による降水過程の観測的研究に関する功績
	牧原 康隆	レーダー利用による短時間降水・土砂災害予報の技術開発
2005年度	倉嶋 厚	季節と天気に関する動気候学的研究と気象解説による気象学・気候学の普及に対する功績
	二宮 洸三	気象擾乱の多スケール階層構造に関する研究と気象基礎教育の普及に対する功績
2004年度	笹野 泰弘	ADEOS衛星搭載センサー、ILASの推進によるわが国における大気化学研究の発展に寄与した功績
	山本 孝二	気象予報士制度の発足、および、民間気象業務の振興を通じた気象学知識の普及への貢献
2003年度	高橋 劭	雲物理学、特に雷雲および東南アジアモンスーン域の雲活動に関する研究
	木村 龍治	地球流体力学研究の推進ならびに気象学の普及に関する貢献
2002年度	安成 哲三	GAMEを中心とするアジアモンスーンに関する研究の推進
	山岬 正紀	台風及び熱帯擾乱に関する数値実験的研究
2001年度	近藤 純正	大気境界層における熱および水などの収支に関する研究への貢献
	武田 喬男	雲物理学及びメソスケールの大気水循環研究への貢献
2000年度	菊地 勝弘	極域における雲物理学研究およびレーダー観測の確立への貢献
	佐々木 嘉和	メソ気象分野における研究推進と研究者育成
1999年度	浅井 富雄	大気熱対流に関する基礎からメソ気象現象に亙る広範な研究、地球環境問題および気候変動に関する啓発的研究
1998年度	竹内 清秀	大気境界層及び大気汚染気象の研究の発展に貢献した業績
	立平 良三	近年における天気予報技術の革新に貢献した業績

1997年度	関口 理郎	わが国におけるオゾン観測体制の確立、オゾン層変動機構の解明等の成層圏科学の発展への貢献
1996年度	笠原 彰	数値予報並びに大気大循環に関する研究
	光田 寧	日中共同研究HEIFEの指導的役割を通して、乾燥地帯における地空相互作用の研究を推進した業績
1995年度	田中 正之	大気中の二酸化炭素の観測をはじめとする地球環境研究への多面的貢献
1994年度	栗原 宣夫	数値モデルを使用した熱帯低気圧の理解及び予報についての研究
	住 明正	T O G Aを中心とする熱帯海洋大気結合システム研究の推進
1993年度	山元 龍三郎	近年における気候変動の実態解明、および気候変動研究推進とその成果の社会への伝達
	柳井 迪雄	熱帯大気の力学に関する研究
1992年度	松野 太郎	大気力学並びに気候変動の研究の推進
1991年度	荒川 昭夫	数値モデルによる大気大循環の研究
	北川 信一郎	雷研究の発展に貢献し、人体への落雷の本質を解明し、雷害防止に寄与した功績
1990年度	藤田 哲也	メソ気象学の開拓
1989年度	加藤 進	中間圏大気研究の発展に尽くした功績
1988年度	河村 武	都市気候の研究に関する一連の業績と学会活動への貢献
1987年度	川口 貞男	南極観測事業を通して我が国の極地気象学を振興させた功績
1986年度	村上 多喜雄	モンスーンの研究及びその発展に尽くした功績
1985年度	岸保 勘三郎	日本の気象学の発展と国際協力の推進に尽くした功績
1984年度	広野 求和	ライダーによる成層圏エアロゾル層の観測に先導的役割を果たし、長期間にわたる観測によってエアロゾル層の挙動、特に火山噴火の影響を明らかにした功績
1983年度	都田 菊郎	延長予報モデルの開発に尽くした貢献
1982年度	新田 尚	日本の数値予報に関する研究開発の促進と知識の普及及び国際交流への寄与
1981年度	靱山 政子	疾病・死亡率の季節変化に関する研究
1980年	小倉 義光	気象力学の発展および教育普及に尽くした功績

度		
1979年度	山本 武夫	日本の歴史時代の気候の研究
1978年度	片山 昭	大気大循環の熱収支に関する一連の研究
1977年度	吉野 正敏	局地気候に関する研究および気候学の発展、普及に尽くした貢献
1976年度	和田 英夫	大規模大循環の研究と長期予報技術の開発
1975年度	斎藤 直輔	力学的、熱力学的方法によるシノプティック解析の研究
1974年度	三宅 泰雄	気象化学の開拓とわが国におけるその発展に尽くした功績
1973年度	畠山 久尚	多年にわたる大気電気学に関する研究および著作を通じての啓蒙と教育
1972年度	荒川 秀俊	研究および著述を通じての永年にわたる気象力学並びに気象熱力学への貢献および日本気象災害史の研究
1971年度	福井 英一郎	日本における気候学的研究とその体系化および気候教育に貢献した業績
1970年度	福田 喜代志	北日本の長期予報と日本の豪雪についての永年にわたる業績
1969年度	高橋 浩一郎	総観気象・気象統計に関する研究および気象学の普及に貢献した業績
1968年度	坂上 治郎	大気拡散に関する研究およびその応用
1967年度	孫野 長治	雲物理学に関する実験的並びに観測的研究
1966年度	真鍋 淑郎	大気の熱収支および放射平衡に関する研究
1965年度	山本 義一	太陽および大気放射に関する研究
1964年度	宇野木 早苗 宮崎 正衛 上野 武夫	高潮の理論計算と、これを予想にまで発展せしめた業績
1963年度	斉藤 鍊一	本邦の風に関する研究

新着情報

日本気象学会からのお知らせ

[大会・講演会](#)

[理事会](#)

[教育と普及活動](#)

[SOLA編集委員会](#)

[事務局](#)

[事業報告・収支報告](#)

[人材育成・男女共同参画](#)

[国際学術交流委員会](#)

[気象集誌編集委員会](#)

[研究連絡会](#)

[選挙管理委員会](#)

[電子情報委員会](#)

その他のお知らせ

[研究集会](#)

[刊行物](#)

[公募案内](#)

[入札公告](#)

[掲示板・公募案内への情報掲載について](#)

これまでの掲載記事

□□□□

行事予定

10月
26
水
2016

全日 日本気象学会2016年秋季大会 @ 名古屋大学東山キャンパス

10月
27
木
2016

12:00 PM 日本気象学会2016年度秋季大会「女... @ 名古屋大学東山キャンパス内

11月
4
金
2016

10:00 AM 東京大学大気海洋研究所共同利用研... @ 東京大学大気海洋研究所 2F 講堂

11月
5
土
2016

9:00 AM 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海... @ 大槌町浪板交流促進センター

11月
6
日
2016

9:00 AM 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海... @ 大槌町浪板交流促進センター

□

[カレンダーを見る](#) □

アドレス

(公社)日本気象学会
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4
気象庁内
電話：03-3216-4403
F A X：03-3216-4401

日本気象学会個人情報保護方針

お問い合わせ

当ホームページに関するお問い合わせはこちらからお寄せください。

サイト情報

[サイトマップ](#)

[旧サイト \(更新停止\)](#)

[ログイン \(管理用\)](#)

© 1996-2016 公益社団法人 日本気象学会. ; The Meteorological Society of Japan. All Rights Reserved.